

# 宇都宮市立瑞穂野北小学校 第6学年 児童質問紙

## ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

〈挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等〉

○学校の決まりを守って生活をしている児童は多く、いじめはいけなという質問の肯定的回答率は高い。

●自尊感情や規範意識に関する質問の肯定的回答は低い。しかし、将来の夢や目標をもつ児童の自尊感情は高い。認め、ほめ、励ます指導により自尊感情が高まるよう声掛けをいく。

〈学習習慣等〉

○自分で課題を立てて調べる学習では、積極的に取り組んでいる児童が多い。

●家庭学習については、自分で計画を立てて勉強に取り組んでいると回答した児童は少数で、全くしていないと答えた児童もみられた。家庭と連携して自分で考えて学ぶことを実践していけるようにしていく。

〈主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況〉

○●道徳の授業では、自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動では、意欲的に取り組んでいる。その反面、思いやり、協力、協調性など実生活に十分に反映されていない。役割演技等を取り入れ、疑似体験から実生活に結び付けられるよう指導していく。

〈学習に対する興味・関心や授業の理解度等〉

○国語の勉強は大切だと肯定的に回答をしている割合は高い。また、算数の勉強は大切だ、算数で学習したことは将来社会に出たときに役に立つと回答している児童の肯定的に回答している割合も高い。

## 宇都宮市立瑞穂野北小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・活動のめあての明確化と振り返りの充実	・「何ができるようになるか」を明確にして授業の構想を立て、児童が見通しをもって学習に取り組めるように実践化を図っている。さらに、学びを実感できるような振り返りも行っている。	・授業の内容がよく分かると答えた児童は、国語が約90%、算数が約83%であった。 ・学習した内容を実生活に活用できないかと考えることのできる児童の肯定的回答率は96%と非常に高い。

### ★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
質問紙の調査において、家庭学習では自分で計画を立てて勉強に取り組んでいると回答した児童は少数であり、全くしていないと答えた児童もみられた。	・家庭学習の手引きを基に、家庭と協力して自分で考えて学ぶことを全校でさらに推進していく。	・毎日の家庭学習の時間の確保や興味のもてる学習内容の提示するなど、意欲が持続されるような働きかけをしていく。授業で学んだことの復習や次時の予習、複数単元の内容をまとめて復習することや全学年までの内容を復習するなど具体的に提示し、家庭での学習が定着できるようにする。